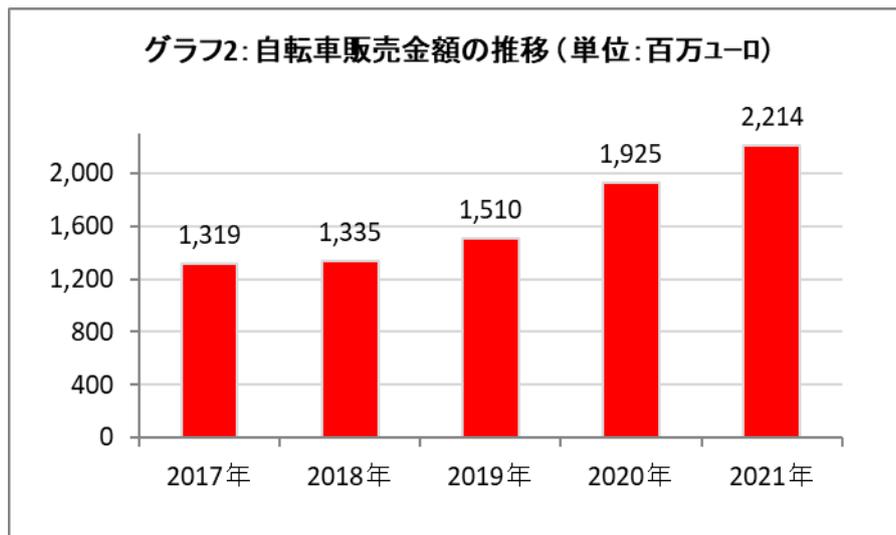
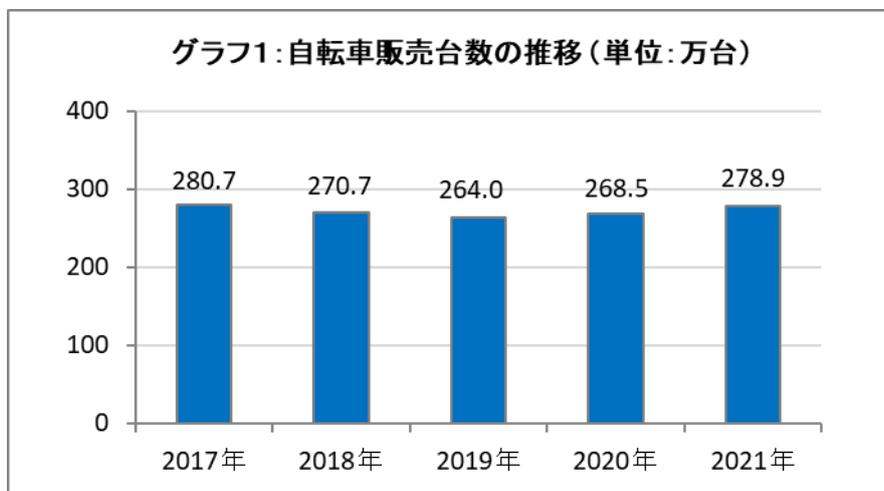


フランス自転車市況－2021

1. 自転車販売動向

フランスのスポーツ・サイクル用品の業界団体「Union Sport & Cycle」によると、2021年の自転車販売は台数ベースで前年比3.9%増の278.9万台と、2020年に対して僅かながらの増加となった。一方、金額ベースでは前年比15%増の2,214百万ユーロと、2020年（前年比27.5%増）に引き続き伸びをみせた。金額ベースで2019年と比較すると46.6%増となっている。



Union Sport & Cycleは「フランスの自転車市場は力強い成長を続けている」とし「2021年 Covid-19 危機の影響は、健康危機、供給に対する緊張、輸送コストの上昇、原材料の価

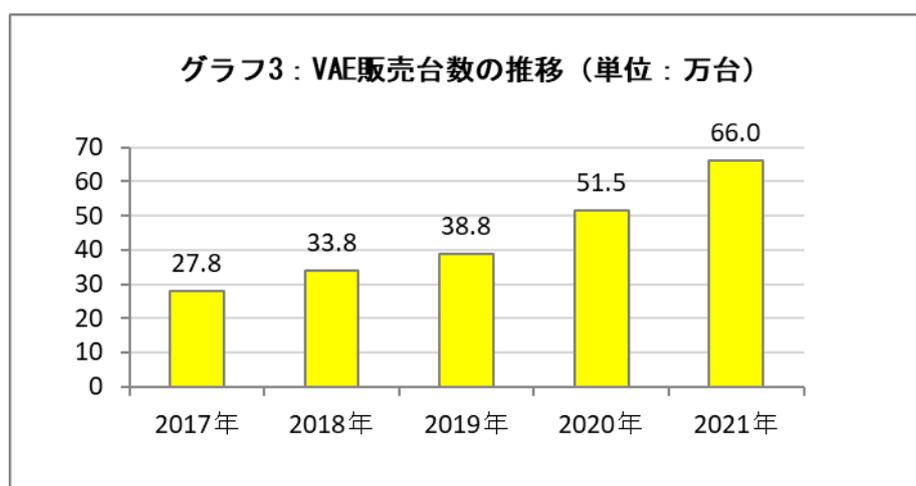
格などが依然として続いている。しかし、今年もフランスの自転車市場は記録を更新した」としている。

また「困難な状況にもかかわらず成長する市場」だとして、「2020年の例外的ともいえる成長の継続性の中、フランスの自転車市場は2021年に力強い成長を維持し、自転車関連の総市場規模は34億ユーロを超えた」として、「2021年の自転車販売高は2020年と比較して台数ベースで約4%増、金額ベースで15%増加した。278.9万台以上の自転車が販売されており、他の交通手段よりもはるかに先んじて、再びフランス人が好む輸送手段となった。過去2年間でみると、2019年と比較して自転車販売高は46%増の成長となっている。これは、自転車が現在のフランス文化に根ざし、他の交通手段の真の代替品となっている基本的傾向を反映した記録的な数字である」としている。

2. VAE 販売動向

VAE (Vélo à assistance électrique／電動アシスト自転車) の販売は、台数ベースで前年比28.2%増の66万台と3割近くの増加となったが、2019年と比較すると70.1%増と2年前とでは7割増となっている。

Union Sport & Cycleは「VAEは新しいマーケットリーダー」だとして、「VAE人気は販売台数に示されているとおりで、モビリティとフィジカルとスポーツの実践のための基本的なツールであるVAEはフランスにおける自転車再生の象徴となっている」とし、「フランスでは、2020年の51.5万台に対し、2021年には66万台のVAEが販売され、前年比で28%増加した。VAEの市場シェアは増加しており、現在、この分野の主たる成長車種と位置付けられている。2021年の平均価格は2020年と比較して4%減少したが、VAEの市場シェアは台数ベースで全体の24%、金額ベースで59%を占めており、フランスで販売された自転車4台のうち1台がVAEであることを表している」としている。



また、「絶え間ない進歩の中、フランス国内での生産」として、「健康危機による供給困難に直面して、自転車メーカーはフランス国内での生産能力を強化している。2020年の66万

台に対し、2021年にはフランスで80万台の自転車が生産されており、これらの効果がすでに感じられている。さらに2022年のフランス国内生産は97.6万台に達する可能性があり、その50%以上がVAEであると予測している」としており、「2021年はサプライチェーンの大きな混乱があったものの自転車店は適応することができた。自転車店は多様なニーズに対応するため在庫を抱えており、2022年春初めには消費者を安心させることができる」としている。

さらに「持続的な経済危機に変化した健康危機であったが、フランスでもサイクリングが流行ではなく、個人の移動手段の革命であるという近年の傾向を確認することで、自転車市場は成長を続けており、フランスは今後数年間ヨーロッパで最も有望な市場の1つであるだろう」としている。

3. 年次総会開催

Union sport & cycleは自転車関連企業の主要な専門組織として、フランスにおけるサイクリングの実践開発やフランスでの自転車及び自転車部品製造をサポートしており、スポーツ及びレジャー関連を合わせると、3,000以上の販売拠点、500のブランド、2,500以上のスポーツ施設、80,000人の従業員、120億ユーロの累積売上高を代表する1,700の企業メンバーを有している。そのUnion Sport & Cycleが2022年6月28日及び29日の2日間にわたり年次総会を開催した。

Union Sport & Cycleによると、年次総会には200人以上のUSCメンバーに加え、来賓として、オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣ほか、スポーツ、政治及び経済界を代表する方々が臨席した。総会では全体会議とワークショップが2日間にわたり行われ、フランス社会におけるスポーツ、レジャー及び自転車関連企業がなすべき役割、この分野における経済主体の現在並びに将来の課題について議論された。

オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣は、経済関係者と手を携えてこの地域のスポーツを発展させたいという願望を振り返り、「スポーツの世界には企業文化から学ぶべきことがたくさんあると確信している。現在の健康と経済、両面の危機に直面して業界が示した回復力を称賛する。スポーツを通じた専門的な統合は国の優先事項であり、こうした中、Union Sport & Cycleが主催する雇用とスポーツトレーニングに特化したイベントは、需要と供給を結びつけ、その分野で可能な何千もの仕事を生み出すのに不可欠である。また、スポーツ、レジャー及びサイクリングの経済的行動は、我が国の経済、雇用、公衆衛生、社会的包摂並びに生態学的移行の課題に具体的かつ持続可能な解決策を提供する」とスピーチしている。

また、オリンピック・パラリンピックを2年後に控えてスポーツ分野の進化を分析する会議や、エコノミストが一堂に会しての経済会議、スポーツ、レジャー及びサイクル部門の環境問題関連組織の代表者が生態学的移行と持続可能な開発を課題とした会議なども併せて開催された。

以上

出所：Union Sport & Cycle